

2014年4月10日

プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人
市民共同学習プロジェクト子どもひろば

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

子どもの健全な成長と保護者の子育てを支援する社会教育事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。
2011年文科省の調査では小・中学校のいじめは全国で7万件 自殺は200人です。
子ども達のいじめによる自殺は後絶たず多くの保護者・子どもに不幸を与えており社会的影響は言わずもたれず。この問題を学校だけが解決することは困難であろうと考え、状況を改善する努力が、子・保護者に共に考えながら地域社会に求められている。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。
文科省の調査を基に いじめの多いとされる中学、小学生を対象に多摩地域の
保育園、小学校、中学校で いじめ防止の出前授業を行いました。
いじめや人間関係のトラブルを親子で乗り越える為公共施設で保護者向け講演を
実施致しました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

工夫点: 立川市の子育て育成課、男女平等参画課と連携し多く市民に広報・実施を
呼びかけた、学校法人や社会福祉法人に協力を頂き保護者向け講演を広く
広報した点で他団体と協働ながらの活動を心がけました。
成果: 計10回の出前授業及び講演会を実施し、子ども287名 市職員・指導員
132名 保護者40名 計459名参加しました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

参加した子ども達のアンケートを見ると「いじめられた時の対応法」「不審者に遭遇した
際の対応法」等大人からは当然な基本的な事が教えられていたと判りました。
「いじめは仕方ない。いじめない」「みんな仲良く」といった道徳的教育だけでなく
子どもが困難をのりこえ生き抜く力を育む学びが必要であると感じました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

